Microsoft Teams を活用しネイティブな発音に近づこう

中学校 3年

八尾市立成法中学校

教科英語単元名Lesson2 Languages in India

本時のねらい

- ・受け身形を理解し、それを含む英文を聞いたり、読んだりして内容を捉える。
- ・受け身形を理解し、それを含む英文を話したり、正確に書いたりする。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・ロイロノート上で、単元を見通した学習計画、振り返り等を行う。
- ・Teams の学習アクセラレータを活用し、個の進度に応じた音読練習を行い、 音読を振り返り、改善につなげることができる。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・ロイロノート・Microsoft Teams 学習アクセラレータ・デジタル教科書

本時の展開

本時で育む主な情報活用能力

K-STEP4, E-STEP4 L-STEP4, Q-STEP4

該当番号の詳細内容は 「大阪府情報活用能力 ステップシート」から確認できます。



学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (10 分)	○ロイロノートで学習計画表に本時の「自分の目標」を書く。 【写真1】 ○Lesson2 の単語の word list を配付し、3 段階に分け てペアでチェックをしながら練習する。 本時のめあて:受け身形を理解し、それ	・単元の学習計画を見ながら本時の「自分の目標」を書くことで、見通しをもって学習に取り組む。 を含む英文を正確に話し、書くことができる。
展開 (35 分)	○Lesson2 part1 本文のリスニングをし、ペアで内容を確認する。	・デジタル教科書のピクチャーカードを見ることでより内容の理解を深める。 ・デジタル教科書で単語のアクセントや音のつながりを自分のペースで確認し、練習することができる。 ・Teams の学習アクセラレータで重要な単語の練習をするとともに、発音、アクセントなどの間違いを確認することで、正しく英文を読めるようになる。 ・録音した自分の発音を聞くことで、癖や間違いに気づくことができる。 ・発音の正確性や誤発音の数などをパーセンテージや数値で見ることができ、次の目標を立てやすい。
まとめ (5分)	○学習の振り返りをロイロノートの学習計画表で行う。	○本時の内容だけでなく、前時や今後の内容を踏まえてまとめ や振り返りを行うことで学習の調整を行う。
(5)))		

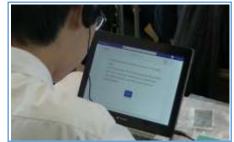
1人1台端末を活用した活動の様子



【写真 1】ロイロノートを使い、本時の学習計画を 立てる。



【写真2】ペアで単語練習、本文の読み練習を 行う。



【写真3】Teamsの学習アクセラレータを使い 音読練習を行う。

児童生徒の反応や変容

- ・デジタル教科書を活用することで自分のペースに合わせて発音練習、音読練習を進めることができた。
- ・Teams の学習アクセラレータを使うことによって自分の発音を確認し、AI の判定によって苦手な単語に気づくことができた。

授業者の声~参考にしてほしいポイント~

- ・生徒一人ひとりの発音やアクセントなどを授業内で確認しようとすると生徒の待ち時間が長くなるため、Teams を活用し全員が自分のペースで練習でき、自分の発音を確認しながら正しい発音を習得できるようにしている。
- ・Teams の学習アクセラレータを活用すると、対面でしかできなかった音読練習を宿題として出すことが可能になる。また教員、生徒ともに動画を見直すことができるので、生徒の学習だけでなく教員の発音やアクセントの指導にも役立てることができる。